

1 どちらかと言えば反対

安全が確認された原子力発電所を今後も活用していくとともに、電源の安定的な確保のため、原子力発電所の増設を進める必要がある。原子力発電所の再稼働について、国民の声を聴くことは大切であるが、国民投票のみで決着をつけるべき問題ではないと考える。今後、AIの普及やデータセンターの設置増加などで電力需要が高まることが予想される。電力の安定供給に向けて、原子力規制委員会の審査の効率をも重視した業務推進を進めつつ、新規規制基準の許可を得ている原子力発電所の早期再稼働を進めるべきと考える。また、安全性の高い次世代型原子炉の実用化に向けて研究開発に取り組むべきと考える。

2 どちらかといえば反対

エネルギー基本計画は、エネルギー確保のための長期的な指針を決める、安全保障の観点からも重要なものである。特定の方向に偏ったメンバーで決定することは好ましくなく、エネルギー以外の分野も含め、広く国民全体の意見を取り入れた内容にすべきである。エネルギーの確保にあたっては、より一層の規制改革を進め、資金調達のための投資促進制度を導入するなど、経済成長と脱炭素社会実現を両立させる計画とする必要がある。

3 反対

わが党としては、原発再稼働と増設については賛成の立場をとっており、間接民主主義で選ばれた議員によってこの問題は選択されるべきであると考えている。地方自治体の住民投票はえてしてポピュリズムに陥る危険性があり、必ずしも本当の民意を反映したものとは言えない面もあり、安易に受け入れられるものではない。わが党としては、間接性民主主義によって選ばれた議員による議会での採択を以って決定とする判断をしたほうが、より現実に近い政策をとれるのではないかと考える。

以上